

安全・安心の町づくりについて —災害ボランティアの育成・支援状況—



土本 昌幸 議員
(公明党)

問 防災士の育成についてお聞きします。

答 警察官や消防士あるいは消防団員で一定の階級以上の方、また退職者は研修や試験が免除される等の特例もあり、この有資格者の方に防災士資格の取得についてご検討いただく方向で進めたいと考えています。また職員の防災士についても、市が職員に対して行う資格取得の助成制度に防災士も加えるよう検討し、ふやし

ていきたいと考えています。

問 ボランティアの支援についてお聞きします。NPO 法人として活動するメンバーもおられますが、一般市民の参加がふえるような取り組みが必要と考えます。見解をお聞きします。

答 災害ボランティアの活動をされる方には、高速道路を無料で通行できる災害派遣等従事車両証明書があり、活動される際にはぜひご活用いただきたい。また、市職員については災害ボランティアとして活動する場合は特別休暇を整備しており、積極的な参加を図れるよう推奨していきたい。

問 災害ボランティアの育成支援について。

答 【市長】災害が起こった後の対応は非常に重要であり、その中でボランティアの重要性が大変大きくなっています。今後は市が大きく音頭をとり、必要なボランティアを確保していく。本当に忘れる間もなく災害が発生する中でボランティアの重要性はますます増しており、市全体としてしっかり人数を確保することに責任を持って今後進めていきたい。

要望 加西市は比較的災害が少ない恵まれた地域であり、市としての防災力をもっと向上させていきたい。また被災地域へ支援に行くことも大事な視点であり、これに係る取り組みの推進もお願いしたい。

■その他の質問項目

・教育問題について

加西市地域創生戦略、加西市の教育について ほか



植田 通孝 議員
(自民の風・誠真会)

加西市地域創生戦略

問 「まち・ひと・しごと創生（地方創生）」により、地方の人口減少をとどめつつ地方の活性化を推進する目的で、国と地方が一丸となって頑張るために立ち上げた「加西市地域創生戦略」もほぼ7割から8割方経過を迎える現在、総合的な達成率はいかほどか。

答 外部有識者による加西市元気なまちづくり市民会議は、地域創生戦略の95のアクション

プランと総合計画の取り組み合計196の事業について評価検証を行っています。今年度3回開催し、95のアクションプランの最終年度目標指数に対する達成度は平均で87%という評価数値が出ています。現時点ではおおむね適正であると考えています。

加西市の教育

問 児童生徒が生きる力を育む具体的な教育方法とは。

答 生きる力という言葉、非常に広い概念であり、なかなか一筋縄ではいかない言葉だと思いますが、1つは確かな学力です。もう1つは豊かな心です。さらに健やかな体。いわば知徳体をバランスよく育み、児童生徒に予測が困難なこれからの未来社会において自律的に生きていく、そして社

会の形成に積極的に参加する、そういう力を育てていきたいと考えています。

地域消防団への装備品無償貸与

問 加東市は消防自動車並びに動力ポンプ及び積載車、団員の制服等を無償貸与していると聞かすが詳しい情報は。

答 無償貸与されています。消防自動車はおおむね20年で更新、小型動力ポンプ付き積載車は15年ぐらいが更新基準となっているようです。活動着も難燃性のものではないが無償貸与されています。加東市は消防自動車6台、小型動力ポンプ付き積載車70台が市内全域の総数で、年間3台から4台を更新しているとのこと。